



かみとんだ 議会だより

第 134 号

2011.6

「議会だより」は、上富田町のホームページにも掲載しています。



2011 プロ野球 ウェスタンリーグ公式戦 阪神タイガースVS広島東洋カープ
5月14日・15日に上富田スポーツセンターで開催

3月議会で3議員が一般質問を行いました！

- 井潤 治議員： ☆平成23年度の国保税について
☆TPPとそれに対する農業委員会の取り組みについて
☆町総合計画への「意見募集」の結果について
☆町職員人事の今後について ☆町の人口問題について
- 沖田公子議員： ☆未婚者支援について ☆地域のふれあい芝生化事業について
- 木村政子議員： ☆教育問題について ☆男女共同参画について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

会期（平成23年3月9日～18日） 10日間

3月 議会

3月定例会に町長から提出された案件は、条例13件、平成22年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、平成23年度各会計の当初予算13件、工事請負変更契約1件、土地取得1件、人事案件1件で、いずれも原案どおり可決しました。また、議会から条例1件、農業委員会委員の推薦1件、意見書1件が提出され可決しました。

主な条例

◎上富田町税条例の一部を改正する条例

（この条例は、納税者間の不公平感をなくすため、平成24年度より、報奨金制度を廃止する改正及び軽自動車税等の減免申請の期間を納期限までとすることを改正するものです。）

◎上富田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

（この条例は、国民健康保険税の減免申請の期限を納期限までと改正するものです。）

◎上富田町国民健康保険条例の一部を改正する条例

（この条例は、健康保険法施行令の一部改正に伴う出産一時金引き上げのための改正です。改正の内容は、現行350,000円を390,000円に改めるものです。）

◎上富田町特別会計条例の一部を改正する条例

（この条例は、上富田町特別会計町営砂利採取碎石事業、上富田町特別会計共同汚水処理施設事業、及び上富田町特別会計老人保健の3会計を平成23年3月31日をもって事業廃止することに伴う規定の整備を行うものです。）

◎上富田町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

（この条例は、上富田スポーツセンター多目的グラウンドを、夜間照明付人口芝生コートに形状変更したこと、並びに多目的グラウンドに隣接するクラブハウスの新設により球技場、屋内イベント広場、多目的グラウンドの施設維持のための使用料の増額改正です。改正の内容は、多目的グラウンドA、Bコートや屋内イベント広場、球技場の使用料が2割引き上げられます。）



上富田スポーツセンターリニューアルオープンセレモニー

工事請負変更契約

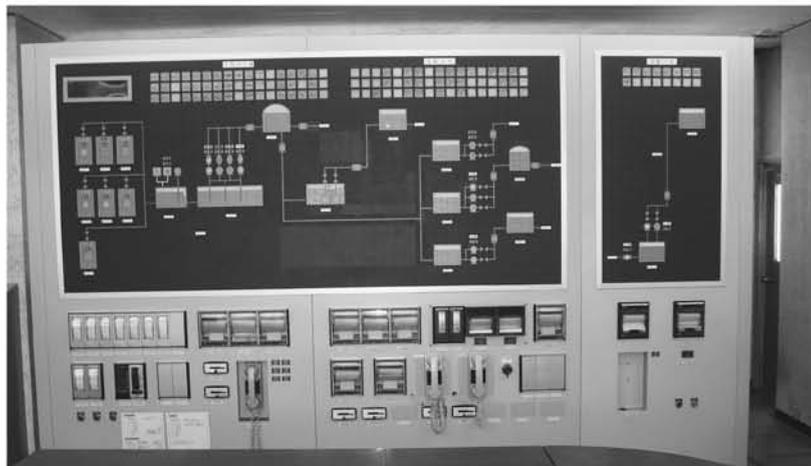
◎工事名……平成22年度 第5号 上水道事業 中央監視設備改良工事

契約金額……132,300,000円

契約相手

大阪市北区梅田2丁目4番9号
横河電機株式会社 関西支社
支社長 太田 忠明

昭和56年度に設置された監視設備
(第一浄水場)



人事案件

◎農業委員会委員の推薦について

任期満了に伴う農業委員に、次の方が推薦され、全会一致で同意しました。

上富田町下鮎川	田中 徹 氏
上富田町生馬	植本 政則 氏
上富田町朝来	畑山 豊 氏

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任については、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意しました。

上富田町市ノ瀬	三栖 隆久 氏
---------	---------

任期満了に伴う一部事務組合公立紀南病院組合議会議員を選出

(一部事務組合とは、2以上の市町村が団体の事務や機関に委任されている事務の一部を共同で処理するために設ける地方公共団体の組合をいいます。)

奥田 誠
吉田 盛彦

<平成23年度当初予算>

平成23年度の一般会計・特別会計予算額

会 計 名		予 算 額	
一 般 会 計		57億2,600万円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	19億44万円	
	後 期 高 齢 者 医 療	2億2,327万円	
	介 護 保 険	11億4,850万8千円	
	宅 地 造 成 事 業	1億2,670万円	
	宅 地 取 得 資 金 貸 付 事 業	301万4千円	
	住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業	1,561万5千円	
	奨 学 事 業	1,037万円	
	水 道 事 業	収 益 的 事 業	4億5,600万円
		資 本 的 事 業	3億3,137万8千円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,363万6千円	
	公 共 下 水 道 事 業	4億1,478万7千円	
	朝 来 財 産 区	485万円	
	西 牟 婁 郡 公 平 委 員 会	132万円	
計		105億4,588万8千円	

平成23年度の一般会計当初予算は57億2,600万円で、対前年度と比較すると、2億6,600万円(4.9%)の増となっています。

本年度は、第4次総合計画の初年度に当たることから総合計画に基づき編成をしています。引き続き事務事業の見直し等、行政改革を進めている中で、扶助費(医療費等)や一部事務組合の負担金等が増加していること、歳入、歳出とも1年間を見通した決算に近い額で編成した関係で、減債基金等を若干取り崩したものとなっています。

尚、増額の主なものとしては、統合保育所の建設費を措置したことによるものです。

(減債基金・・・地方公共団体(役場)の借金を返す計画のために設けた基金)

平成23年度 一般会計予算の主な歳出

議会費

- ・定例会等議事録作成業務委託料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100万円
(3月・6月・9月・12月に行う議会定例会及び臨時会の会議録作成委託料)

総務費

(総務管理費)

- ・町内会運営補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 598万円
(98町内会へ、1戸当たり1,300円を運営補助)
- ・チャイルドシート購入費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40万円
(チャイルドシート購入費の2分の1を補助する。但し補助金の上限は10,000円)
- ・くちくまのコミュニティバス運行経費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,520万円
(町内で運行しているコミュニティバスの運行を委託している明光バスへの補助)

- ・共同汚水処理施設解体事業
 3, 500万円
 (丹田台地区公共下水道接続替えによる施設の解体事業)

昭和49年度に建築された
 丹田台共同汚水処理施設



- ・みんなが学んで花ひらく口熊野かみとんだ事業..... 1, 249万6千円
 (イベントの内容・・・プロ野球ウエスタンリーグ、富田川友遊フェスティバル、南紀おやじバンドコンテスト、彦五郎イルミネーションフェスタ、国際交流協会補助金)
- ・住民生活に光を注ぐ交付金事業
 153万6千円

住民から提供された民家が小規模
 多機能施設に生まれ変わります
 (南紀の台地区)



- ・男女共同参画社会推進費
 36万5千円
 (男女共同参画社会の形成に関する取組のための費用)

ワークライフバランス講座



- ・地籍調査費..... 4, 801万9千円
 (平成22年度末で、事業の進捗率は、町全体要調査面積の約33.6%となっている。平成23年度の新規地区は、岡字庵ノ下、岩田字尾崎、刃剣地区を調査予定)
- ・ふるさと雇用再生特別基金事業費(就学前児童の育成支援委託料)..... 773万6千円
 (原則、在宅で児童を養育している家庭を対象として、親が病気などで子どもの世話ができない時に、親や家庭への子育て支援を行うことを目的として、スポーツセンター隣の上富田地域交流センター内に一時預かりの保育施設を設置し、その業務を「くちくまのクラブシーカ」に委託する。)
- ・緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費..... 2, 989万3千円
 (この基金を活用することにより、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の事業費)

(徴税費)

- ・和歌山地方税回収機構負担金……………209万円
(税の滞納整理のために県下市町村で設立している地方税回収機構への町負担金)

(選挙費)

- ・県議会議員選挙費……………603万5千円
(平成23年4月29日任期満了による選挙費用)

(統計調査費)

- ・指定統計調査費……………66万1千円
(5年に一回実施される経済センサス調査にかかる費用)

民生費

(社会福祉総務費)

- ・地域福祉センター管理委託料……………250万円
(指定管理者制度に伴い、上富田福祉センターを町社会福祉協議会に管理委託する費用)
- ・特別会計介護保険繰出金……………1億8,399万8千円
(介護保険会計の町負担分として一般会計より繰出)

(老人福祉費)

- ・緊急通報監視センター委託料……………340万2千円
(一人暮らし高齢者の安否確認を総合警備保障に委託)
- ・敬老年金……………350万4千円
(80歳以上の方に、年額3,000円を支給)
- ・在宅ねたきり老人介護者手当……………72万円
(月額4,000円を在宅介護されている方に支給)

(障害福祉費)

- ・扶助費(障害福祉サービス費 他)……………2億6,362万2千円
(障害者自立支援法に係る福祉サービス給付費等)

(社会・児童福祉医療費)

- ・後期高齢者医療広域連合負担金……………212万1千円
(平成20年度より開始された75歳以上の後期高齢者医療制度を県下全市町村による広域連合で運営するための町負担金)
- ・特別会計後期高齢者医療繰出金……………1億4,204万3千円
(平成20年度より始まった後期高齢者医療会計への町負担分を一般会計より繰出)
- ・扶助費(重度心身障害児(者)・乳幼児・ひとり親家庭 他医療費)……………1億301万9千円
- ・特別会計国民健康保険繰出金……………1億5,717万円
(国民健康保険会計の町負担分を一般会計より繰出)

(児童福祉費)

- ・紀州3人っこ施策事業費補助金……………45万円
(平成19年度より始まった施策で、少子化対策の一環として、満18歳未満の児童が3人以上いる世帯に対して、第3子以降の3歳未満児の保育料が無料となる。)
- ・子育て支援軽減施策事業費補助金……………30万円
(小学校就学前の児童のいる家庭で、何らかの理由により、通常育児が困難になり、町が契約している子育てのNPO法人が行う児童の一時預かりを利用した場合の利用料の半額を補助する。但し、一世帯当り年15,000円が限度)
- ・保育所運営費……………3億236万4千円
(町内5つの保育所の運営費及び広域保育所運営委託料等)

・保育所建設事業費

・・・・・・・・・・ 3億9, 140万円
 (市ノ瀬、岩田、生馬の3保育所の統合による建築、土地購入費)



統合保育所建設予定地
 (岩田地区)

- ・児童措置費(子ども手当費)・・・・・・・・・・ 3億7, 638万円
 (中学校修了までの児童を対象に、月額13, 000円を支給する。)
- ・(災害救助費)・・・・・・・・・・ 1, 205万円
 (災害が起きたときの災害弔慰金・災害見舞金・災害援護資金貸付金等)

衛生費

(保健衛生総務費)

- ・委託料(乳幼児健診・妊産婦検診 他)・・・・・・・・ 1, 525万6千円
 (医療機関等へ委託して、保健センターで実施)
- ・公立紀南病院組合負担金(運営費 他)・・・・・・・・ 5, 393万2千円
 (田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町で組織する紀南病院組合への町負担分)
- ・病院群輪番制負担金・・・・・・・・ 176万9千円
 (休日における診療当番の医療機関に係る負担金・・・田辺周辺広域市町村圏組合で調整)
- ・不妊治療費補助金・・・・・・・・ 18万円
 (不妊に悩む夫婦に対して、一般不妊治療費の一部を補助)
- ・妊婦健康診査費補助金・・・・・・・・ 60万円
 (子どもを産み育てようとする世帯の経済的負担を軽減するため、妊産婦健診費用について一部を補助)

(予防費)

- ・委託料(各種検診、インフルエンザ 他)・・・・・・・・ 6, 706万8千円
 (がん検診他について、医療機関等へ委託)

(環境衛生費)

- ・斎場事務業務委託料・・・・・・・・ 782万円
 (白浜町の斎場使用に係る委託料)

(清掃総務費)

- ・委託料(可燃物、不燃物収集委託料 他)・・・・・・・・ 9, 273万3千円
 (町内の可燃物、不燃物収集に係る委託料 他)
- ・上大中清掃施設組合負担金(運営経費 他)・・・・・・・・ 1億4, 735万1千円
 (田辺市・上富田町で組織する組合の運営経費と建設経費に伴う町負担金)
- ・富田川衛生施設組合負担金・・・・・・・・ 9, 879万4千円
 (白浜町・田辺市・上富田町で組織する組合の経常経費と建設経費に伴う町負担金)
- ・ごみステーション補助金・・・・・・・・ 20万円
 (ごみ集積箱の設置に対する補助で、補助率5割で限度額25, 000円)
- ・電気式生ごみ処理機購入費補助金・・・・・・・・ 20万円
 (購入費の1/3を補助、限度額20, 000円)
- ・(財)紀南環境整備公社運営費補助金・・・・・・・・ 220万円
 (紀南の11市町村でごみ最終処分場の計画を進めている整備公社への町負担分)
- ・合併処理浄化槽補助金・・・・・・・・ 1, 217万8千円
 (各家庭における合併処理浄化槽設置に伴う補助金 区域制限等条件あり)

農林水産業費

- ・上富田町農業振興協議会補助金
 …………… 5 9 2 万 4 千円
 (協議会は、農業振興の研究、研修、事業等
 を行っている。)
- ・特別会計農業集落排水事業繰出金
 …………… 1 億 3, 8 1 3 万 6 千円
 (特別会計農業集落排水事業会計へ一般会計
 から繰出)
- ・中山間地域等直接支払事業交付金
 …………… 1, 6 0 0 万円
 (中山間地域の農地の耕作放棄の発生を防ぐ
 ために事業実施地区へ交付)
- ・有害駆除捕獲補助金…………… 3 9 6 万円
 (有害駆除捕獲の補助金 イノシシ 1 頭 1 0,
 0 0 0 円 シカ 1 頭 1 0, 0 0 0 円 サル
 1 頭 3 0, 0 0 0 円 アライグマ 1 頭 3,
 0 0 0 円)
- ・森林整備地域活動支援交付金
 …………… 6 8 0 万円
 (荒廃した森林の現況を確認し、その整備を
 目的に西牟婁森林組合等に交付)



農業振興協議会委員による町内現地調査



捕獲したイノシシ

商工費

- ・商工会補助金…………… 3 3 0 万円
 (上富田町商工会への補助金)
- ・知的創造活動促進奨励金…………… 3 0 万円
 (工夫・発明等の特許権、商標登録等に要する国への費用について、町が一部助成)
- ・経営安定奨励金…………… 1 0 0 万円
 (上富田町における事業所等の新設並びに経営の安定維持を行う者に対し、奨励措置を講じ産業の振興
 及び雇用機会の拡大維持を図る。)
- ・事業所等設置奨励金…………… 7 4 0 万円
 (上富田町へ新たな事業所等の立地促進を奨励する。)
- ・観光協会補助金…………… 1 8 9 万 9 千円
 (上富田町観光協会への補助金)

土木費

- ・木造住宅耐震診断業務委託料…………… 2 2 万円
 (昭和 5 6 年以前建築の住宅で、2 0 0 m²以下の家屋が診断の対象・個人は無料)
- ・木造住宅耐震改修費補助金…………… 9 4 万 5 千円
 (診断を行い該当すれば、改修費用の 2 / 3 を補助 (最高 6 0 万限度に補助))
- ・県営事業負担金(県道改良工事)…………… 3 0 万円
 (町内で実施している県営の急傾斜崩壊対策工事に伴う町負担金)
- ・管内図作製業務委託料…………… 1, 5 0 0 万円
 (平成 4 年作成の管内図を改訂する業務)
- ・高速道路推進費…………… 6 1 1 万 1 千円
 (高速道路の推進事業に伴う職員の人件費他)

- ・社会資本整備総合交付金事業
 …… 1, 523万9千円
 (国の交付金事業であり、今回、この事業により28の橋梁を長寿命化点検をする業務)
- ・特別会計公共下水道事業繰出金
 …… 1億3, 927万1千円
 (特別会計公共下水道事業会計への一般会計からの繰出金)
- ・公営住宅建設事業費
 …… 3億6, 175万9千円
 (生馬 栗ヶ谷住宅建築工事他)



橋梁の点検

消防費

- ・消防事務業務委託料…………… 2億2, 276万4千円
 (消防事務に係る田辺市への委託料・・・上富田消防署分)
- ・備品購入費(防災用備蓄備品等)…………… 132万6千円
 (ジェットホース・防災用備蓄品等の購入費)
- ・県防災ヘリコプター運航維持運営負担金…………… 107万6千円
 (県防災ヘリコプター運航に係る町負担金)
- ・自主防災組織育成事業補助金…………… 100万円
 (大規模災害に備えて、町内会等、地域での自主防災組織設立に係る補助)

教育費

- ・適応指導教室運営費…………… 219万4千円
 (20年度より行っている不登校児童の対策費)
- ・英語指導助手設置事業費補助金…………… 500万円
 (中学校等の英語指導助手に係る費用)
- ・海外研修業務委託料…………… 920万円
 (毎年実施している上富田中学校生徒のオーストラリア研修委託料)
- ・生涯学習事業費(ボランティア活動、上富田町文化協会活動補助金 他)…………… 722万9千円
 (生涯学習の活動に伴う費用)
- ・放課後児童対策費…………… 1, 933万2千円
 (あすなる学童保育、なごみ学童保育の業務委託料等)
- ・図書館運営費(町立図書館の運営費)…………… 1, 173万6千円
 (図書購入費含む運営費等)
- ・文化会館運営費(自主事業委託料他)…………… 3, 818万円
 (上富田文化会館の管理・運営・催しに係る費用)
- ・紀州口熊野マラソン実行委員会補助金…………… 300万円
 (紀州口熊野マラソンに伴う実行委員会への補助金)
- ・体育施設管理費…………… 4, 049万1千円
 (上富田スポーツセンターに係る管理費等)

公債費

- ・長期債償還金(元金)…………… 6億1, 380万2千円
 (借入金の償還元金)
- ・長期債償還金(利子)…………… 1億1, 274万6千円
 (借入金の償還利子)

ここが聞きたい!

沖田 公子 議員

1. 未婚者支援について
2. 地域のふれあい芝生化事業について

平成23年3月定例会の一般質問は、日程2日目の3月14日に行われ、3議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。



沖田議員

① 未婚者支援について

質問 未婚者支援について、雇用環境の悪化とか価値観の多様化など、結婚しない理由は様々ですが、未婚率の上昇は少子化の進行を招き、社会に深刻な影響を与えます。少子化対策に加え、高齢者の孤立化を防ぐ社会福祉の観点からも、未婚者支援は重要な課題であります。若者の結婚を支援するために、若者の出会いの場を作ってゆく必要性があります。

そこで、質問①お互いの信頼関係をベースに出会うお見合いのように行政が信用という価値を加味した出会いの場を提供しては、②結婚できない人の多くは、コミュニケーションが苦手な人が多く、会話能力を高めてあげることが結婚への近道となることも指摘されています。③未婚の若者や保護者の相談などに応じ結

婚を支援する拠点を開設。④民間と連携し婚活を支援する結婚サポートターの募集、結婚に関する情報発信をするインターネットも立ち上げてはと提案いたします。

総務政策課企画員 質問

①について、お見合いに参加する男女の経済状況とか人柄個人すべてを把握して確実に身分を保証することができない以上、行政主催のお見合いを開催するのは、今の時点では難しい。ただし、民間がそのような企画があったときには、町の広報紙の活用とか会場の提供等の面でサポートすることは可能。行政として、若い男女が家庭を築き、安心して暮らせるよう、企業立地を進めることで、就労対策や就労支援、それから定住促進に取り組んでゆく。



②について、平成23年度の男女共同参画事業の一環として、講演会、講習会の開催を計画しております、この中で、若者のためのコミュニケーション講座を開催することも可能かなと考えている。

③については、人口規模や財政面から現時点ではそのような窓口を開設するのは困難。④については、現在上富田町で行われている各種イベント。例えば友遊フェスティバルなんかの主催者と協議して、地域における婚活を盛り上げていくというアプローチも考えられますので検討させていただきます。

② 地域のふれあい芝生化事業について

「地域ふれあい芝生化事業」保育所での住民参加による園庭の芝生化について、子どもたちが安心して暮らせる社会づくりには地域住民が子どもたちをみんなでなくもという意識を持つことが大切です。そのためにも、地域住民が子どもたちや子育て中の保護者と気軽に楽しくコミュニケーションが出来る環境づくりが必要であります。芝生化事業を通して、芝生の植えつけから管理、さらに完成した緑の庭園

をどのように活用するかを地域全体で考えることで、交流の活性化と子育て力のアップが図られていくと考えます。

町長 今後、統合保育所があります。出来たら芝生化をしたいなと思っております。すけど国の補助制度を適用すれば130万円位、植え付けの一部分しか取れないということになります。

ただ、町で芝生化をした場合、保護者会で管理してくれるのだったら私としても良いと思うのです。



木村政子 議員

1. 教育問題について
2. 男女共同参画について

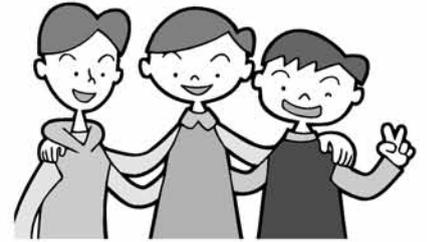


木村議員

①教育問題について

質問 (1) いじめに関し、県内の公立の小中高、特別支援学校でのいじめの有無やその内容を直接聞いたアンケート結果はどうか。いじめの見逃しはないか。

(2) 22年度の不登校の実態と適応教室の実績はどうか。



(3) 就学援助制度について、一昨年、国は国民の相対的貧困率が15.7%。18歳未満の子は14.2%、300万人と発表しました。30人の組で4〜5人は子供が貧困の状態。教育を受ける権利を保障する大事な制度。利用状況はどうか。

(4) 運動会の開催時期の検討は出来ないか。地球温暖化の影響で、9月開催は練習が大変なので検討してはどうか。

町長 第四次総合計画で「みんなが学んで花ひらく口熊野かみとんだ」と決め学びに力を入れてい

	全児童数	利用者数	利用率
小	950	96	10.1%
中	461	76	16.5%
合計	1,411	172	12.2%

る。家庭教育で解決できないことは地域にお願いしたい。

教育長 (1) いじめについて、児童生徒の実態を把握し、一人ひとりの状況に応じて個別に学級などの話し合いや指導で対応している。

いじめとしてとらえる内容は無い。

(2) 年間30日以上欠席の不登校生は、小学校で4名、中学校で14名。適応指導教室は現在3

質問 男女共同参画の実現の大きな障害の一つは、人々の意識の中に長い時間をかけて形づくられてきた性別に基づく固定的性別役割分担意識である。

23年に第三次基本計画が決定されたが、特に男性、子どもにとっての共

②男女共同参画について

同参画が特徴である。

(1) 育児休業の取得状況はどうか。特に男性職員への意識啓発をどうするか。

(2) 女子職員の管理職登用について

(3) 臨時職員の現状と正職員への登用基準はどうなっているか。

総務政策課企画員

(1) について

H18年1名、H19年3名、H20年4名、H21年2名、本年度は1名が取得中。

(3) について

臨時職員

の現状

の生徒が通っている。

(3) 就学援助制度利用状況

援助額 674万1,950円

(4) 昨年の運動会は、9月中旬に実施され、想定外の暑さで、健康管理に配慮した。その後、校長会教頭会で検討したが、地区との合同運動会でやる所や広域の陸上大会、修学旅行など、日程調整に課題がある。引き続き検討する。

臨時職員の現状 H23.3.1現在

保育所	46名	40%	20年以上在職 5名 (内保育所4名) 15年以上在職 6名 (内保育所2名) 10年以上在職 14名 (内保育所4名)
教育委員会	22名	19%	
住民生活課	21名	18%	
総務政策課	17名	15%	
その他	10名	8%	
合計	116名	100%	

男性 22名 19% 女性 94名 81%

町長 女子職員の管理職登用は能力主義でやる。正職員への登用は、学ばかりでとるのではなく、一定期間の働きぶりで判断して採用していきたい。

・・・左記の表

井 潤 治 議 員



井潤議員

①平成23年度の国保税について

質問 3月定例議会説明要旨で町長は23年度国保税の方針として資産割の引き下げを視野に入れた税改正を検討中とし、平成22年度所得が確定した段階で税改定の試算を行い、再度運営審議会にかけて2期目を決め6月議会に提出する、と明らかにしました。町長は何故資産割だけをさわると言うことをあえて強調したのかお聞きしたい。

保制度で限界ならば、現在国で検討している広域での国保運営へ移行するか、また保険者間の共同事業的な財源確保でなく、抜本的な国庫負担の改善を含めた見直しが必要と考え町村会で私は申し述べていきたい、という話でした。この意味は国の検討している広域国保運営への移行か、また保険の持ちよりの財源補足ではなく国庫負担の是正見直しで財政を豊かにするとともに、どちらなのか、いずれにしても国保への国庫負担が医療費全体の45%から給付費の50%に変えられて、たがはずれるように国の負担が少なくなった。積立金は全部取りくずして来しました。事業の今後について全国知事会の問題提起も含めて答弁された。

町長 平成21年度の赤字2,500万円は平成22年度12月補正で一般会計より補てん解消して来しました。22年度は1億3,000万円か1億4,000万円の赤字が発生すると担当より報告を受けています。原因は医療費が異常にのび、中でも高額医療費が増えたこと、す。全国の町村会では、

国保の安定した運営や医療保険制度の一本化の確立をお願いしています。私は一遍に一元化するのには難しいように思います。先ず広域化が必要でないかと思っています。自分の健康管理をどうするかを考えていただかなければどうしても平成23年度国保税の改正になると思

います。
応益、応能制度の質問 ですが、資産を持っていて、要するに所得がないのに資産割がすごく高いために医療費が必要以上に高くなってくる。全国的にこの部分について応益制度を検討することが妥当でないか、という機運がある。町も検討します。23年度国保会計が赤字にならん格好で検討せよと指示していますが、40%値上げしてもらえなかつたら赤字が続くと思っています。40%を一度に急遽に高額にするか段階的にするか、今までは段階的に10%にしたのです。やはり極端な値上げについても問題が出てくるように思います。

質問 資産割の引き下げを視野に入れた改定という町課税方式は「旧ただし書き方式」ですか。所得割をどうするか問題です。国保税の問題で一番大きな矛盾は、同方式では、所得割は所得から基礎控除の33万円を引いた額に税率を掛けて算出する訳です。ここをどう解決するのか。

住民生活課長 賦課方式は現在応能、応益の割合は50%、50%の割合で賦課します。国保事業は個人事業主の保険で重要資産に対する課税のとらえ方が大きく、加入者の実態に合わないこととされ、応能部分の固定資産税の資産割に係る税率の引き下げを検討しているところ

です。現在、応能応益の50対50の比率を見直し、応能部分の資産割を引き下げた分、応益部分で負担する応能、応益の比率見直しを検討しているところ

です。これにより多少、低所得者層への負担増となるかと思いますが、その方については法改正で軽減措置（70%50%20%）の対象となりますので、それほど負担増にならないと考えます。

②TPPとそれに対する農業委員会の取り組みについて

質問 TPPの問題で、農業委員会はどうか、考え方をして来ている、の問題です。（1）農業委員会

でTPPについて議論されたのか、（2）議論の中でどういう問題が出たのか、（3）TPPに参加すると上富田の農業はどうなるか、（4）上富田町の農業者、各種団体で学習会やシンポジウムを開いてはどうか、（5）意見書や農業委員会が反対する決議を上げてはどうか、（6）町はTPPの結果、町の農業がどうなるか、農業委員会に提起されているか。

町長 農業委員会の系統的な組織としては、市町村の農業委員会、都道府県の農業会議、全国農業会議所があり、TPPの問題は全国農業会議所が取り組んでおりまして、下部組織と協議して反対運動もやっております。JAとも連携して反対運

ています。まず広域です。広域で成功するのと言えは私はそれは難しいという判断をしています。

動もやっているし、生産者そのものに対しても勉強会をお願いしています。町農業委員会が改選されたので初議会でもこのような問題があることを説明し協力をお願いしているところ。個々の農業委員会より全国農業会議所と歩調を合わせて活動していく。

産業建設課企画員 昨年12月2日開催の全国農業委員会会長代理者集會におきまして、TPPへの参加は断固反対というような旨とする要請決議を行い、政府並びに国会に対し要請活動を実施するとともに全国農業会議所よりのTPP交渉参加反対1,000万人署名全国運動に基づき、現在町農業委員会として署名活動に取り組んでいます。

シンポジウムにかかわること、農業振興協議会、認定農業者会、農協生産販売部会の農業団体でTPPを含む問題や、井潤議員提起された農家所得粗生産額の低下も議論するため12月2日農業者関係団体の代表者を呼び会議開催の合意形成を行っております。

東日本大震災による岩手県宮古市への支援物資送付出発式で挨拶する奥田議長

3月18日職員2名、運送会社2名が派遣されました。



意見書 3月定例会で意見書1件が提出され、いずれも可決後、国の関係機関へ送付しました

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

北朝鮮が日本人の拉致を初めて認め、謝罪した平成14年の日朝首脳会談以降、5人の拉致被害者とその家族の帰国が実現し、政府においては拉致問題対策本部を設け、政府一体となって問題解決に向けた総合的な対策を推進されているものの、すべての拉致被害者の方々の真相究明及び帰国の実現など、拉致問題の解決に向けた具体的な道筋が未だ見出せない状況にある。

これまで北朝鮮は、我が国の主権並びに日本国民の生命・安全にかかわる拉致問題について、極めて不誠実な態度を取り続けてきた。平成20年8月には、日朝実務者協議における合意に基づき、いったんは北朝鮮が拉致被害者に関する全面的な調査を行うこととなったが、北朝鮮からの一方的な通報により、合意事項が実施されない状況が続いている。

拉致事件の発生から既

に30年以上が経過する中、拉致被害者及びその家族の置かれている状況を踏まえると、これ以上いたずらに時間を費やすことは決して許されないものであり、早期解決に当たっては、国、地方及び国民が一体となって取り組むことが必要である。

よって、国におかれては、政府認定・未認定にかかわらず、北朝鮮によるすべての拉致被害者の安否確認と早期帰国を実現するため、さらなる国際協調を図るとともに、制裁措置と併せて二国間での対話も進めるなど、全力で取り組むよう強く要望する。

意見書提出先

内閣総理大臣

外務大臣

内閣官房長官

内閣府特命担当大臣

(拉致問題担当)

国家公安委員会委員長

衆議院議長

参議院議長



総務教育常任委員会

総務教育常任委員会では、朝来小学校（図書室）上富田町中学校（図書室）他3箇所の現地調査を行いました。

平成23年3月1日



朝来小学校（図書室）で



上富田中学校（図書室）で

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会では、南紀の台エコスタイル回収施設、統合保育所用地他4箇所の現地調査を行いました。

平成23年3月2日



南紀の台エコスタイル回収施設で



統合保育所用地で

編集後記

議会だより第134号をお届けします。

今回は、3月定例会で審議した平成23年度一般会計・特別会計の
主な内容他3議員の一般質問を掲載していますので、ご覧ください。

また、定例会3日目冒頭に去る3月11日に発生しました東日本大震災において甚大な被害を受けられた
皆様方に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた多くの方々のご冥福をお祈りしま
して1分間の黙祷をささげました。